

先端部地区利用の心得の点検 検討部会 実施報告

2017/3/9

釧路自然環境事務所

1. 概要

平成 27 年度第 1 回適正利用・エコツーリズム検討会議（平成 27 年 9 月 1 日開催）にて検討部会の設置について承認を得た後、関係行政機関及び地域関係団体の参画を得て、これまで 6 回の検討部会を開催した。

【知床半島先端部地区利用の心得点検について】

策定より時間が経過している知床半島先端部地区利用の心得（以下、利用の心得）について、利用者ニーズや利用形態の変化等を踏まえ、点検を行った。点検の結果、利用の心得の主旨を変えない範囲で、新しい情報などを盛り込んだわかりやすい内容に改訂することとなった。利用の心得本文及び先端部の利用のあり方について、行政及び地域関係団体より多くの意見があり、そのうち、利用の心得の修正により対応する意見とそうでない意見を平成 27 年度第 2 回までに分類した。平成 28 年度第 1 回～3 回にかけて、利用の心得修正案について文言の検討を進め、平成 28 年度第 4 回部会において、利用の心得修正案をとりまとめた。

【利用の心得普及啓発媒体について】

平成 28 年度第 3 回部会から、改訂した利用の心得を周知する普及啓発媒体の作成方針について検討した。利用の心得の周知及び先端部利用者の安全管理を目的に、Web サイトとパンフレットの 2 媒体で普及啓発を行うこととした。

2. 部会開催結果概要

1) 平成 27 年度第 1 回検討部会概要

開催日時：平成 27 年 10 月 19 日（月）17:30～19:00

会 場：羅臼町コミュニティセンター

○環境省より、利用の心得の内容及び利用の心得の点検を行うことになった背景、作業方針及び作業フローについて説明。

○利用の心得に関する課題について意見を募ったところ、利用の心得について、わかりにくさ等の指摘があった。

○一方で、利用の心得本文以外の先端部に関する話題として、監視体制や運用体制の拡充について意見があった。

○また、先端部地区全体の利用を考える部会とすべき等会議のあり方についての意見、会議回数を増やすべき等の意見もあった。

※補足として、メール等により追加の意見募集を行った。

2) 平成 27 年度第 2 回検討部会概要

開催日時：平成 28 年 2 月 3 日（水）15:00～18:20

会 場：斜里町 ゆめホール知床

- 第 1 回の意見を受け、環境省より検討部会のあり方、点検のポイントについて説明。
- 第 1 回及びメール等で集まった 80 件以上の意見について、点検のポイントを踏まえ利用の心得の修正により対応する意見とそうでない意見に分類した。
- 検討部会では扱わないが、先端部地区の P R 方法、運用体制の拡充等の意見については今後の重要な課題として共有した。

3) 平成 28 年度第 1 回部会概要

開催日時：平成 28 年 8 月 19 日（金）17:00～19:00

会 場：斜里町公民館 ゆめホール知床

- 平成 28 年度第 2 回までに分類した意見のうち、利用の心得の修正により対応する意見を反映させた利用の心得修正案について、行政及び地域関係団体と検討を進めた。
- 修正案に対して、文言に関する意見はあるものの、一部項目を除き大きな反対意見はなかった。ただし、「知床エコツーリズム戦略に基づき提案・最終承認された提案内容については例外として認められる」という趣旨の追加文言については、先端部地区の管理者または利用者にとっての基本原則である「動力船による上陸利用は認められない」という内容と整合がとれないとして、反対意見があった。
- 平成 28 年度のスケジュールの他、啓発媒体についても検討を行う旨共有した。

4) 平成 28 年度第 2 回部会概要

開催日時：平成 28 年 11 月 15 日（火）18:00～20:00

会 場：羅臼町コミュニティセンター

- 平成 28 年度第 1 回部会での意見を反映させた利用の心得修正案について、行政及び地域関係団体と検討を進めた。
- 修正案に対して文言の修正意見がいくつかあった一方、修正案の大筋について合意した。そのほか、先端部地区の利用のあり方に関する意見が多くあった。
- 次回から普及啓発媒体の検討を始める旨共有した。

5) 平成 28 年度第 3 回部会概要

開催日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）17:00～19:00

会 場：斜里町公民館 ゆめホール知床

【利用の心得点検について】

- 平成 28 年度第 2 回部会での意見を反映させた利用の心得修正案について、行政及び地域関係団体と検討を進めた。

○別紙として追加した「ヒグマ、キツネによる事故・被害及び遭難・事故等に関する情報」について、内容を整理したうえで充実させるべきとの意見が出た。

【利用の心得普及啓発媒体について】

- 事務局より普及啓発媒体作成方針案を提示し、媒体と記載内容について部会構成員から意見を募集した。
- 作成方針について多様な意見があった。特に、自己責任が前提である先端部地区の利用者に向けてどの程度詳細な情報を発信すべきかが普及啓発媒体作成に当たっての検討事項として共有された。

6) 平成 28 年度第 4 回部会概要

開催日時：平成 29 年 2 月 27 日（月）16:00～18:00

会 場：羅臼町公民館

【利用の心得点検について】

- 平成 28 年度第 3 回部会での意見を反映させた利用の心得修正案について、行政及び地域関係団体と検討を進めた。
- 追加の修正意見はなく、利用の心得改訂案がとりまとめられた。

【利用の心得普及啓発媒体について】

- 平成 28 年度第 3 回部会での意見を受け、事務局で再検討した普及啓発媒体作成方針案を提示した。
- 利用の心得の周知及び利用の準備に必要な情報を記載する Web サイトと現地での注意事項等を記載するパンフレットの 2 媒体を作成することとなった。
- 掲載する内容については、先端部地区の危険箇所や自己責任が前提であることなど安全管理を目的としたものだけでなく、先端部地区の魅力も合わせて掲載することとなった。また、掲載する情報の正確性や情報へのアクセスが担保されることの重要性が指摘された。

3. 今後の予定

- 策定した利用の心得の内容について、利用者への普及啓発を図る。来年度は、本部会で協議した普及啓発媒体作成方針をもとに環境省で利用の心得普及啓発媒体を作成する。